



次節情報

関東リーグ第15節

10月7日(日) Kickoff 14:00 VS 流通経済大学

アクセス

○◀笠松運動公園陸上競技場▶

TEL:03-3830-1850 (本連盟にご連絡下さい)

〒312-0001

茨城県ひたちなか市 大字佐和 2197-28

- ・JR常磐線佐和駅より「スマイルあおぞらばす」乗車、「笠松運動公園入口」下車
- ・JR常磐線「佐和」駅より徒歩30分
- ・JR常磐線「佐和」駅よりタクシーで約10分
- ・JR「勝田」駅よりタクシーで約30分
- ・JR常磐線水戸駅北口より茨城交通バス「東海駅」行乗車約30分、「笠松運動公園前」下車
- ・JR常磐線東海駅西口より茨城交通バス「水戸駅北口」行乗車約8分「笠松運動公園前」下車
- ・JR常磐線「東海」駅より徒歩約30分、またはタクシーで約10分

編集・発行：早稲田大学ア式蹴球部

週刊 ア式

OFFICIAL MATCHDAY LEAFLET

Waseda University Association Football Club

【Vol. 14】2018年9月30日 発行

2018年度 関東リーグ 第14節

早稲田大学 vs 専修大学

開幕2戦未だ勝利なし。後期の厳しさをまざまざと見せつけられている外池早稲田。是が非でも勝点3をもぎ取りたい今節は、同じく後期勝利のない専修大学との対戦である。2試合で9失点と守備の課題が浮き彫りになっているが、前節は果敢にドライブしていく姿勢など、復調の兆しが見える闘いであった。このいい流れを結果として示すことができれば「奪還」への歩みを進められるであろう。今節こそア式の底力が試される一戦である。

PICK UP PLAYER

空間認知能力の高さに加え、巧みに身体を使いこなし、空中で他を圧倒するエアバトラー。彼の球際の激しさ、体を張った守備はチームの士気を高める。今節も闘志あふれるプレーと精度の高いフィードに期待がかかる。

杉山耕二

DF 2年
三菱養和 SC ユース



仕

事を完璧にこなし、チームを影から束ねるア式のスーパー主務、秋葉遼太。「スーパー」たる所以は

圧倒的な仕事量、そして「裏方」にとどまらない飽くなき向上心にある。前節の桐蔭横浜大学戦ではスタメンで出場。サイドを突破し、選手としても存在感を示した。そんな秋葉の抱える主務としての葛藤、選手としての展望に迫る。

-----主務という仕事についての思い

あまり表に出る仕事ではないし、裏方の仕事ではあるけど、そこがないとチームとして成り立たないので自分がチームを動かしているという気持ちでやっている。OBの方々とか外部の人とか、ア式以外の人と関わることが多いから、そういうところでは部を代表して、さらにア式がよりよい組織になるように考えている。

-----選手でありながら主務を務めることへの葛藤はありましたか？

特に早慶戦前とか練習になかなか出られなかったり、夜遅くまで仕事したりとか様々な準備もしていたし、大変といえば大変だった。もちろん選手として早慶戦に出たかったって思いはあったけど、あの舞台を作り上げることにフォーカスしていた。今年1万8千人の観客が入って自分の中では良い仕事ができたと思っている。早慶戦後は仕事の負担が減ってサッカーも頑張ろうと思えたので良い切り替えができたと思っている。

-----主務になることを決意した経緯は？

学年内で主務候補が5人くらいに絞られて、他の役職とか学年のバランスを考えた上で最終的には自分がやるって立候補した。やっぱり主務っていう仕事は率先してやりたい仕事ではないかもしれないけど、マネジメントを選手がプレーしながらやるっていうのも大学サッカーならではのところで、自分はそういうところでもチームに貢献したいと思った。

-----前節の関東リーグにスタメンで出場しました。その感想を教えてください。

去年の副務の時からベンチには入っていて、その中で想像はしていたけど実際ピッチに立つと想

像と全然違うし、あの関東リーグのピッチの上で点を取るとか、勝ち点3を取るっていうのはすごく難しいと感じた。それでも4年間目標にしてきたところだったから、その4年間の思いをしっかりとぶつけようという気持ちでピッチに立った。緊張はある程度したけどそこまでガチガチになることもなく良い緊張感で臨めたと思う。

-----今後に向けて一言お願いします。

自分がスタメンだとかベンチ入りできるかとかはまだわからないし、もちろんそれを目指しながらやっていくけど、もし出られないとしても主務として貢献できるころはあると思う。前節初めて試合に出て感じたこともあったから、それをピッチ内はもちろん、主務の仕事にも生かして、チームが関東リーグ優勝できるように自分の仕事を全うしたいと思います。

順位表 (第13節終了時点)

1	早稲田大学	29
2	明治大学	24
3	順天堂大学	22
4	筑波大学	21
5	法政大学	21
6	流通経済大学	20
7	専修大学	20
8	駒澤大学	17
9	桐蔭横浜大学	15
10	東洋大学	13
11	東京国際大学	13
12	国士館大学	4